



フォレスターうじ 会報

第289号
令和5年3月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

二月定例活動

二十五周年記念事業・トーテムポール制作
椎茸植菌体験会

活動日 二月十九日(日) 雨後曇
活動時間 九時三十分〜十五時
活動場所 天ヶ瀬森林公園
参加者 会員十七名 一日体験一名
椎茸植菌体験四組十一名

雨なので、大屋根休憩所に集合した。深田会長の挨拶、木曾事務局長の報告等の後、安全十カ条唱和、準備体操を行い、活動を始めた。

午前は、トーテムポールを会長の車で大屋根休憩所に運び、ペンキによる色付け作業を全員で行った。その合間に上田会員が、水道取水口の点検作業を行った。色付けは午後も続けて行われた。昼食は、ヤカン二個のお湯が女性会員により用意され、どん兵衛・みどり狸等のカップ麺を戴くことができた。暖かく美味しかったです。

午後は、椎茸植菌体験会を行った。初めに、筆者が原木栽培手引き「森産業(株)」の説明をしてから、作業を始めた。約一時間位で終了後、体験者には植菌原木を持帰って頂いた。椎茸は、夏を二回越した秋から発生することを伝えた。残りの原木には、会員が植菌して、小屋近くに仮伏せした。雨は止んだ。

トーテムポールのペンキ塗りは、会員全員の間作業によりほぼ完成した。そして、未乾燥なので、前二人・後二人で紐に丁寧に吊るして、小屋の横の所定の場所に収納した。

三月五日の太陽が丘での特別活動用品を会長の車に積み込み、十五時ごろに終礼した。雨の寒い中、椎茸植菌体験会に参加の皆様、会員の皆様、お疲れ様でした。

(記 小林 清三郎)

臨時活動

落葉の道に横たわる倒木除去

活動日 二月十二日(日) 晴
活動場所 天ヶ瀬森林公園
参加者 二名

小林副会長とふたりで野鳥観察小屋付近の落葉の道を遮断していた倒木を除去した。作業は倒木を切断して散策路から取り除くのだが、順調に進み四十分程度で終了した。これで森林公園を散策する市民たちもひと安心だと思ふ。

(記 深田 和夫)



2/19 親子で椎茸植菌体験



2/19 トーテムポールの色塗り

臨時活動

e コットカフェに協力
椎茸植菌体験と森のちよつといい話

活動日 二月十一日(土) 晴
活動時間 九時〜十二時
活動場所 宇治市生涯学習センター
参加者 会員五名 e コット宇治一名
宇治市環境企画課一名

講演担当 中佐 昌弘
椎茸植菌担当 新宮 邦春
受講者 講演十九名 椎茸植菌体験十五名

森林公園で森林保全の一日体験を呼び掛けて実施するとか、商店街のイベントで子供たちの木工体験をするとか、地球温暖化対策の啓発は何回も行った。しかし、部屋の中で地球温暖化対策の森林保全と産物利用の森の循環の話をするという機会はなかった。

今回はe コット宇治の啓発活動として、地球温暖化防止に大事な森林の話と椎茸植菌体験と一緒に行うことができた。中佐会員のわかりやすい話は皆さん集中して聞いてくれた。新宮会員の丁寧な準備のおかげで皆さん「いつ椎茸できるの」と熱心に取り組んでくれた。

進行方法など反省点もあったので、来年に繋げられるようにしたいと思う。

(記 木曾 宗統)



2.11. 森のちよつといい話を熱心に聞いている受講者の皆さん(写真)

e コット宇治 佐藤悦子

森のちよつといい話

中佐 昌弘

エッセイ

先日、ecoott宇治のイベント「ecoottカフェ」で「森のちよつといい話」をしました。その時の話したことの要約を記します。

太古の昔から人は、多くの恵みを森林から受け、生活して来ました。特に、広葉樹はその実を食料にするだけでなく、近代まで薪など燃料として生活にはなくてはならないものでした。

この広葉樹と人は、かつて上手に付き合ってきました。広葉樹は萌芽更新により人が植栽しなくても新しく芽生えます。この性質を利用して、里の近くの木々を伐採し、薪などに利用します。そして、次の年その隣の木々を同じだけ伐採し、利用します。これを二十年ほど行い、元の場所に戻ると、その場所が薪などにちよつど良い状態になっています。これを繰り返して、自分たちの生活に役立てていました。時には、切りすぎることもありましたが、森林と上手に付き合ってきました。

ところが、近年燃料革命等により人が森林に入らなくなり、このサイクルが乱れ、病虫害などが発生し、荒れた森林が増え、人々の暮らしに影響が出るようになってきたのです。

そして、「この荒れた森林を何とかしたい。」という声が届くに大きくなり、森林ボランティア活動を始める人が増えてきました。(もちろん、フォレストアージュも同じです)。

この活動が広がったのは、人が昔から森林と共に生活をして来たから「荒れた森林を見ていられない。森林を元気にしたい。」と思う人が多いからかもしれません。「きれいな森林の中にいると気持ちいい。」と感じることも同じかもしれません。

楽しいだけなので

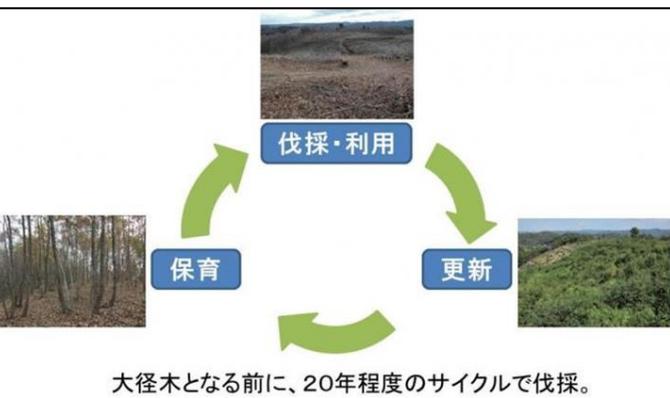
木曾 宗統

エッセイ

時々お知り合いの方から「木曾さんえらいね!」と褒めてもらうことがある。「なんにもそんな!？」と返事すると、「いやいや、ボランティアをしてるんでしょ」と返してこられる。

その時はいつも、ボランティア活動なんてそんなに褒めてもらうほどの大層なことではないですよと言いたいと思う。内心は褒めてもらってちよつと嬉しい。だからなおのこと、そんなことを言ったら引かれてしまうのではないかと言葉を飲み込む。確かにボランティアを始めたころはちよつと気が重かった。お人の役に立つとか、で地球環境を守るとか、そんな大看板を自分の背中に背負うのは辛いと思つた。

でも、森林公園



に入るとそれだけで気分がいい。そして木を切るとスカツとする。そして昼飯を食べる。冬のおにぎりは冷たいというより、半分硬い。それでも美味しい。そして仲間たちと冗談を言い合い、腹から笑う。気持ちいい。これで褒めてもらうのはもったない、告白する。自分が楽しいだけだから。

今後の活動・行事の案内

令和五年四月以降の予定です。ぜひ、ご参加ください。

四月定例活動
四月十六日(日) 天ヶ瀬森林公園

・令和五年度総会

・森の落語会「森乃福郎師匠独演会」

・安全講習会

四月特別活動

四月二十九日(土) 宇治市植物公園

・緑のウォークラリーに協力

森の木工体験、丸太切り体験、緑の募金、

フォレストアージュからのお報せ

フォレストアージュは新しい仲間を募集しています。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレストアージュ 事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

☎〇九〇―九二七〇―〇七六三



編集後記

令和五年になってから、我々の活動も活発になってきた。二十五周年記念事業も大詰めを迎えている。天ヶ瀬森林公園もあっちこっちと整備箇所ができてきている。そして、外部の団体や企業からの協力要請も増えてきた。安全十カ条にあるよう無理せずやっていきたい。

(会報担当 木曾 宗統)
(写真担当 田中 一夫)